

令和 7 年度 第 2 回

山梨県考古博物館協議会資料

////////////////////////////////////

(次 第)

1 開 会

2 館長あいさつ

3 議 事

(1) 令和 7 年度考古博物館事業経過・予定事業について

(2) 令和 8 年度考古博物館予定事業について

(3) 考古博物館利用状況について

(4) その他

令和 9 年度特別展について

4 閉 会

////////////////////////////////////

令和 8 年 3 月 1 0 日 (火)

山 梨 県 立 考 古 博 物 館

資 料 目 次

(1) 令和7年度 考古博物館事業経過・予定事業について

1	展示活動	1 ～ 2
2	学習会・講座など	2 ～ 4
3	イベント	4 ～ 6
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	6 ～ 7
5	古代衣装貸出	7
6	学芸員・教育主事によるガイドの実施	7

(2) 令和8年度 考古博物館予定事業について

1	展示活動	8
2	学習会・講座など	9 ～ 10
3	イベント	10 ～ 11
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	11
5	古代衣装貸出	12
6	学芸員・教育主事によるガイドの実施	12

(3) 考古博物館の利用状況について

1	利用者状況	13
2	常設展観覧者数過年度比較	14
3	考古博物館観覧数推移	15 ～ 17
4	学校関係利用状況	18 ～ 19
5	外国人利用者数	20

(4) その他

令和9年度特別展について	資料なし
--------------	------

◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	21 ～ 23
-------------------------	---------

(1) 令和7年度 考古博物館事業経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 第42回特別展「PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える-パプアニューギニアの民族誌-展」

会 期： 9月27日（土）～12月7日（日）

開催日数65日

会 場：当館展示室

共 催：早稲田大学

後 援：パプアニューギニア大使館、国際機関太平洋諸島センター

入館者：6,104人

概 要： 早稲田大学に収蔵されるオセアニア資料を基に、同大学考古学研究室が長期にわたり調査したパプアニューギニアの資料を加え、儀礼・精神文化が深く関わる土器の型式成立と変化を縄文土器に照らし併せて、その類似性から縄文時代の謎に迫る企画展です。国内の著名な遺跡の出土品とともに紹介しました。

(2) 企画展

① 春季企画展『帆立貝古墳のミステリー ―三珠大塚古墳と甲府盆地の5世紀―展』

会 期： 4月19日（土）～ 6月15日（日）

開催日数50日

会 場：当館多目的室

共 催：市川三郷町

入館者：5,440人

概 要： 市川三郷町に存在する県指定史跡大塚古墳出土品の有形文化財指定品全品を町の再整理事業に合わせて一斉公開しました。『宋書』の「倭国伝」などに登場する「倭の五王」の時代、山梨の古墳時代中期の謎に迫りました。

② 夏季企画展『釣手土器の世界展』

会 期： 7月12日（土）～ 8月31日（日）

開催日数45日

会 場：当館多目的室

入館者：4,789人

概 要： 学史的には香炉形土器などとも称されている釣手土器は、口縁部に把手が付き、火を用いた呪（まじな）いの道具として用いられたと考えられています。山梨県を中心とした縄文時代中期の遺跡から発見されている不思議な形の土器を一堂に会し紹介しました。

③ 新年干支展『午（うま）』

会 期： 1月 2日（木）～ 1月25日（日）

開催日数16日

会 場：当館エントランスホール

入館者：704人

④ 『第23回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 1月31日（土）～ 2月22日（日）

開催日数19日

会 場：当館多目的室

入館者：835人

⑤ 『風土記の丘望見展「曾根丘陵で発見！！城越遺跡の敷石遺構」』

会 期： 1月31日（土）～ 4月 5日（日）

開催日数55日

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑥ 『山梨の遺跡発掘展2026』

会 期： 3月 7日（土）～ 4月 5日（日）

開催日数26日

会 場：当館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

⑦ 新指定文化財お披露目展

会 期： 1月 2日（金）～ 1月 25日（日）

開催日数16日

会 場：当館エントランスホール

入館者：704人

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「遺跡発掘秘話」をテーマとして、県内の著名な遺跡の発掘者をお呼びし、発掘時のエピソードを交えて、遺跡の魅力を紹介する機会としました。

第1回 6月14日（土）「北杜市丘の公園遺跡群発掘秘話」

講師：保坂 康夫（身延山大学 講師）

参加者51名

第2回 6月28日（土）「北杜市金生遺跡発掘秘話」

講師：新津 健（山梨県考古学協会 会長）

参加者58名

第3回 7月12日（土）「甲斐市金の尾遺跡発掘秘話」

講師：末木 健（山梨県考古学協会 名誉会長）

参加者58名

第4回 7月26日（土）「甲州市安道寺遺跡発掘秘話」

講師：野代 幸和（当館 学芸課長）

参加者50名

※対談形式で実施予定だったが、発掘者である小林広和氏が体調不良で入院したため、野代のみで実施。

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

縄文時代に見られるマジカルな要素や特色について紹介します。

第1回 6月 8日（日） 「石器時代に最も近い国パプアニューギニア」

参加者 60名

第2回 9月 1日（日） 「オセアニア民族誌と考古学」 参加者 45名

第3回 12月 7日（日） 「科学で読み解く縄文社会」 参加者 86名

第4回 3月22日（日） 「縄文土器を作った人々の心象世界」

(3) 特別展記念講演会

第42回特別展「PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える - パプアニューギニアの民族誌一展」の開催を記念して、講演いただきました。

会期中に基調講演会と座談会を実施して、特別展への理解を深める。

・日 時 10月26日（日）

・場 所 風土記の丘研修センター (ネット同時配信)

・基調講演

高橋館長「パプアニューギニアの民族誌の調査」

・講演会

中門亮太(早稲田大学准教授) 「パプアニューギニアの民族造形」

平原信崇(千葉県教育庁文化財課) 「イーストケープの土器づくり」

根岸 洋(東京大学准教授)「パプアニューギニアにおける新石器時代以降の展開」

参加者：100名

(4) 親子ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

第1回	5月11日(日)	「古墳時代の大きな勾玉のペンダントづくり」	参加者26名
第2回	6月1日(日)	「古墳時代の埴輪をつくろう」	参加者28名
第3回	7月6日(日)	「戦国時代の紙漉きでうちわづくり」	参加者32名
第4回	8月3日(日)	「縄文風陶器づくり」	参加者26名
第5回	8月24日(日)	「弥生時代の矢じりのペンダントづくり」	参加者30名
第6回	9月14日(日)	「江戸時代の藍染め」	参加者33名
第7回	10月5日(日)	「縄文時代の土面づくり」	参加者10名
第8回	11月9日(日)・30日(日)	「縄文土器を作って焼き上げよう」	参加者58名
第9回	12月7日(日)	「縄文と干支の土鈴づくり」	参加者22名
第10回	1月25日(日)	「火起こし器をつくって火を起こそう」	参加者20名
第11回	2月15日(日)	「弥生時代の土笛づくり」	参加者30名
第12回	3月1日(日)	「縄文の土偶づくり」	

(5) 大人のものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)

第1回	4月19日(土)・20日(日)	「蜜柑玉・トンボ玉作り」	参加者10名
第2回	5月24日(土)	「埴輪(巫女形)作り」	参加者6名
第3回	7月19日(土)	「青銅器作り～蔵手刀形ペーパーナイフ～」	参加者6名
第4回	8月23日(土)	「コーヒー染めのエコバック作り」	参加者6名
第5回	9月27日(土)	「貝を使ったパプア風ネックレス作り」	参加者6名
第6回	10月25日(土)	「パプア風顔面装飾土器作り」	参加者6名

- 第7回 11月15日(土) 「干支(午)の土鈴と陶器作り」
参加者 6名
- 第8回 12月20日(土)・1月10日(土)・31日(土)
「縄文土器作り」 参加者 18名
- 第9回 2月 7日(土)・ 8日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り」
参加者 32名
- 第10回 3月14日(土) 「石製ペンダント作り」

3 イベント

- (1) 第36回風土記の丘こどもまつり(公園指定管理者と共催)
参加者: 4,166名
5月3日(金・祝)・4日(土・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。
- (2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント
- ① 11月20日(木) 『県民の日イベント』参加者 235名
 - ② 1月 2日(金)・3日(土) 『お正月イベント』 参加者 114名
 - ③ 3月 8日(日) 『考古博物館 de 春まつり』参加者 530名
- (3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理者と共催)
- ① 6月21日(土)～ 7月6日(土)
『風土記の丘で七夕飾り』
参加者 92名
 - ② 7月5日(土)・6日(日) 『山梨の七夕人形を作ろう』
参加者 42名
 - ③ 10月19日(日) 『秋のふれあいまつり』
参加者 1,651名
 - ④ 10月25日(土) 『風土記の丘で星を見る会』
参加者 44名
 - ⑤ 11月 3日(月) 『樹木と古墳のガイドツアー』
参加者 36名
 - ⑥ 11月23日(土) 『落ち葉で焼きいも!』
参加者 150名
 - ⑦ 1月12日(月・祝) 『古代米でもちつき大会』
参加者 485名
- (4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
日 時: 7月21日(祝)
会 場: アイメッセ山梨 ブース参加者 180人 入館者 700名
- (5) 商業施設での自由研究相談、体験イベントと私たちの研究室 PR
日 時: 日 時: 8月22日(金)・23日(土)
会 場: ラザウォーク甲斐双葉店 1階ラザコート 参加者 76名

- (6) 第23回わたしたちの研究室表彰式・発表会
 日時：1月31日（土）
 会場：考古博物館エントランスホール
 出席者：63名
- (7) 縄文王国山梨
 第42回特別展記念講演会のWEB配信を、縄文王国山梨チャンネルにて実施
- (8) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業）
 （2月末日現在）
 団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。
- | | | |
|---|--------------------|-----------|
| ① | 火起こし体験 | 参加者3,883名 |
| ② | 勾玉作り | 参加者2,085名 |
| ③ | 土鈴、石包丁、青銅鏡作り、トンボ玉等 | 参加者427名 |
- (9) 埋蔵文化財センターによる縄文土器等出張展示
- ① マチナカ博物館による外部出張展示を実施
- ・マチナカ博物館「山梨デザインセンター『縄文のデザイン展』関連ワークショップ」4月19日（土）
 山梨デザインセンター 参加者：35名
 - ・マチナカ博物館2「第7回小江戸甲府の夏祭りー日本遺産星降る中部高地の縄文世界」8月11日（月・祝）
 舞鶴城公園南芝生広場 参加者：307名
 - ・マチナカ博物館3「縄文 vs 古墳」8月22日（金）・23日（土）
 ラザウオーク甲斐双葉店1階ラザコート 参加者：656名
- (10) 観光・地域活性化に向けた取り組み
- ① 日本遺産や縄文文化ブランドを活用した取り組み強化
- ② 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化
- (11) 海外博物館等との交流
- ① 新北市立十三行博物館（台湾（中華民国））館長ほか2名で参加。
 学術交流協定締結・イベント参加（5月21日（水）～26日（月））
 5月22日（木）
 2025 新北市国際考古学フォーラムにて高橋館長が『縄文の生業』をテーマに発表。
 参加者：約100名
- 5月23日（金）
 十三行博物館と当館との学術交流協定締結調印式
 高橋館長と羅館長で調印。
- 5月24日（土）・25日（日）
 2025 新北市考古生活フェスティバルにてスポーツをテーマとしたワークショップの対応。揉み錐による火起こし体験（雨天のため煙が出るまでのタイムを競う方法に変更。）、観光パンフの配布等。
 フェスティバル参加者総数：26,000名

③ 国立清州博物館（大韓民国）

日韓国交正常化 60 周年を記念し、国立清州博物館が企画した特別展「富士山に登る、山梨」（9 月 4 日～12 月 28 日）のオープニングイベント等に館長ほか 1 名参加（当館所蔵資料も一の沢・酒呑場遺跡の重要文化財など 20 点貸出）（9 月 3 日（水）～6 日（土））

9 月 3 日（水）

国立清州博物館表敬訪問

9 月 4 日（木）

特別展開幕式

9 月 5 日（金）

記念講演会

「山梨県における縄文時代の歴史と文化」をテーマに高橋館長が講演。

参加者：約 50 名

国立忠北大学博物館見学

③四川省（中華人民共和国）

四川省と山梨県の友好県省締結 40 周年記念事業として、文化的交流事業を観光文化・スポーツ部が推進している。12 月にフォーラムを計画した。

○四川省友好県省締結 40 周年知事訪問団

学芸員 1 名が参加（10 月 26 日（日）～29 日（水））

10 月 27 日（月）

三星堆博物館表敬訪問（12 月に招聘予定の朱亜蓉（ジュウ ヤーロン）館長と打合）、四川省文物局・四川省博物院表敬訪問

10 月 28 日（火）

成都博物館を表敬訪問

○四川省友好県省締結 40 周年記念フォーラム

四川省から四川大学李映福教授、三星堆博物館朱亜蓉（ジュウ ヤーロン）館長を県で招聘し、文化交流の記念フォーラム開催を計画。

12 月 21 日（日）にフォーラムを開催予定であったが、諸般の事情により先方から断りがあったため開催が中止となった。

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7 月 24 日（木）～8 月 3 日（日）

国土舘大学文学部 1 名

東京女子大学現代教養学部 1 名

(2) 職場体験 学校向け

7 月 23 日（水） 甲府市立西中学校 1 名

7 月 29 日（火）・30 日（水） 県立ろう学校 1 名

7 月 31 日（木） 甲府市立東中学校 1 名

7 月 31 日（木） 甲府市立笛南中学校 2 名

8 月 1 日（金）・2 日（土） 甲府市立城南中学校 2 名

8 月 5 日（火） 甲府市立甲西中学校 2 名

8月14日（木）・15日（金）	甲府市立北東中学校	1名
8月14日（木）・15日（金）	昭和町立押原中学校	1名
8月15日（金）	甲府市立城南中学校	2名
9月 3日（水）	私立山梨学院中学校	5名
計		9校 18名

(3) インターンシップ

8月13日（水）・14日（木）	私立日々輝学園高等学校	1名
-----------------	-------------	----

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。
主に学校、団体向けに貸出。

4月 8日（火）～ 5月 7日（水）	小出地区まちぢから協議会
6月17日（火）～ 7月16日（水）	板橋区立天津わかしお学校
9月10日（水）～ 9月10日（水）	私立聖心女学院初等科
12月 5日（金）～12月 8日（月）	オチャラボ！
	※伊那市産学官連携拠点施設 INADANI SEES による、伊那 市の「オチャ文化」の発信等 を行うプロジェクト

6 学芸員・教育主事によるガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施（2月末日現在）。

学校（県内83校・県外41校）	124校
一般	52団体

(2) 令和8年度 考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 第43回特別展「中部高地に芽生えた水煙文土器とその周辺展」

会 期： 9月19日（土）～11月23日（月・祝） 開催日数60日

会 場：当館展示室

後 援：甲信縄文文化発信・活性化協議会

概 要： 縄文時代中期後半の中部高地を中心に分布する特異な装飾を施す水煙文土器と、周辺地域に分布する土器型式とのつながりを見ながら地域間の交流などを紹介します。

(2) 企画展

① 春季企画展『甲州市安道寺遺跡 -縄文時代の大きなムラ-展』

会 期： 4月25日（土）～ 6月14日（日） 開催日数44日

会 場：当館多目的室

後 援：甲州市教育委員会

概 要： 令和7年9月に甲州市安道寺遺跡の17号土坑出土資料一括資料6点が重要文化財に指定されました。重要文化財が誕生した安道寺遺跡はどのようなムラであったのか。千年近く断続的に営まれた縄文のムラの実情に迫ります。

② 夏季企画展『玉ものがたり -古代からのメッセージ-展』

会 期： 7月11日（土）～ 8月30日（日） 開催日数45日

会 場：当館多目的室

概 要： 様々な形で数多く出土する「ビーズ」。縄文～古墳時代にかけて数多く使われたビーズ資料に注目し、そこに込められた不思議な力を手がかりに、原始・古代のメッセージを読み解いて、その想像力豊かな精神世界に迫ります。

③ 新年干支展『未（ひつじ）』

会 期： 1月 2日（土）～ 1月24日（日） 開催日数15日

会 場：当館エントランスホール

④ 『第24回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 1月30日（土）～ 2月21日（日） 開催日数20日

会 場：当館多目的室

⑤ 『風土記の丘望見展-いにしえの中道往還-』

会 期： 1月30日（土）～ 4月 4日（日） 開催日数56日

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑥ 『山梨の遺跡発掘展2027』

会 期： 3月 6日（土）～ 4月 4日（日） 開催日数26日

会 場：当館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

昨年度好評だった「遺跡発掘秘話」をテーマとして、県内の著名な遺跡の発掘者をお呼びし、発掘時のエピソードを交えて、遺跡の魅力を紹介する機会とします。

第1回 5月30日(土) 講師：山梨県立博物館 企画交流課長 石神 孝子
「甲州市 大木戸遺跡発掘秘話」

第2回 6月20日(土) 講師：元 山梨県教育委員会 学術文化財課
文化財指導監 村石 真澄
「甲府市 塩部遺跡発掘秘話」

第3回 7月11日(土) 講師：甲斐市教育委員会 教育部長 大寫 正之
「甲斐市 御岳田遺跡発掘秘話」

第4回 8月 1日(土) 講師：元 山梨県埋蔵文化財センター
調査研究課長 坂本 美夫
「甲府市 史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳」

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

縄文時代に見られるマジカルな要素や特色について紹介します。

第1回 8月30日(日) 「縄文時代の生業生活」
第2回 11月 8日(日) 「縄文時代の過剰装飾土器について」
第3回 12月13日(日) 「山梨県における縄文時代の歴史と文化」
第4回 2月21日(日) 「縄文農耕論」

(3) 特別展記念講演会

第43回特別展「中部高地に芽生えた水煙文土器とその周辺展」開催を記念し、会期中に記念講演会を3回実施して、特別展への理解を深めます。

・場 所 風土記の丘研修センター（ネット同時配信予定）

第1回 10月18日(日)予定 文化庁 文化財第一課 考古資料部門
美術工芸品公開促進調査官 今井哲哉
「火炎土器と水煙土器の魅力(仮)」

第2回 11月 8日(日)予定 東北大学 非常勤講師 水沢 教子
「大木式土器と中部高地に与えた影響(仮)」

第3回 11月23日(月・祝)予定 帝京大学文化財研究所 教授 櫛原 功一
「中部高地の水煙文土器(仮)」

(4) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター） （子供・親子向けイベント）

第1回 5月10日(日) 「縄文と弥生時代の土笛づくり」
第2回 6月 7日(日) 「縄文時代のかごづくり」
第3回 7月 5日(日) 「縄文の耳飾のペンダントづくり」
第4回 8月 2日(日) 「古墳時代の大きな勾玉のペンダントづくり」

- | | | | |
|------|--------|-----|------------------------------|
| 第5回 | 8月23日 | (日) | 「弥生時代の矢じりのペンダントづくり」 |
| 第6回 | 9月6日 | (日) | 「江戸時代の藍染め」 |
| 第7回 | 10月11日 | (日) | 「縄文風陶器づくり」 |
| 第8回 | 11月8日 | (日) | 「縄文時代の土偶づくり」 |
| 第9回 | 12月6日 | (日) | 「縄文と干支の土鈴づくり」 |
| 第10回 | 1月10日 | (日) | ・31日(日)
「縄文土器をつくって焼きあげよう」 |
| 第11回 | 2月14日 | (日) | 「火起こし器をつくって火をおこそう」 |
| 第12回 | 3月14日 | (日) | 「古墳時代の大刀柄頭づくり」 |

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）
（大人向けイベント）

- | | | |
|------|--------------------------|------------------------------|
| 第1回 | 5月23日(土) | 「安道寺遺跡の顔面装飾作り」 |
| 第2回 | 6月20日(土) | 「藍のろうけつ染め～
土器模様タペストリー作り～」 |
| 第3回 | 7月18日(土) | 「トンボ玉ストラップ作り」 |
| 第4回 | 8月22日(土) | 「再生琥珀の勾玉ネックレス作り」 |
| 第5回 | 9月19日(土)・20日(日) | 「青銅鏡作り(方格規矩鏡)」 |
| 第6回 | 10月24日(土) | 「アングイン編み」 |
| 第7回 | 11月14日(土) | 「干支土鈴(未)と
水煙文の置物作り」 |
| 第8回 | 12月19日(土)・1月9日(土)・31日(日) | 「縄文土器作り」 |
| 第9回 | 2月6日(土)・7日(日) | 「青銅鏡形チョコレート作り」 |
| 第10回 | 3月6日(土) | 「銅矛形ペーパーナイフ作り」 |

3 イベント

(1) 第37回風土記の丘こどもまつり（公園管理者と共催）

5月3日（日・祝）・4日（月・祝） 風土記の丘研修センターと周辺エリア
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親
しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ① 11月20日(金) | 『県民の日イベント』 |
| ② 夏休み期間中 | 『夏休み体験イベント・自由研究相談』 |
| ③ 特別展期間中 | 『特別展関連イベント』 |
| ④ 1月2日(土)・3日(日) | 『お正月イベント』 |
| ⑤ 3月7日(日) | 『考古博物館 de 春まつり』 |

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント（公園指定管理と共催）

- | | | |
|---|-------------------|---------------|
| ① | 6月20日(土)～7月12日(日) | 『風土記の丘で七夕飾り』 |
| ② | 7月4日(土)・5日(日) | 『山梨の七夕人形を作ろう』 |
| ③ | 9月19日(土) | 『風土記の丘で星を見る会』 |
| ④ | 10月18日(日) | 『秋のふれあいまつり』 |
| ⑤ | 11月7日(日) | 『古代と自然を楽しむ日』 |

- ⑥ 11月23日（月・祝） 『落ち葉で焼きいも！』
- ⑦ 1月11日（月・祝） 『古代米でもちつき大会』

- (4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
会 場：アイメッセ山梨
自由研究の進め方アドバイスと体験イベント
- (5) 商業施設での自由研究相談と体験イベント
- (6) 第24回わたしたちの研究室表彰式・発表会
日 時：1月30日（土）
会 場：考古博物館エントランスホール
- (7) 縄文王国山梨
特別展に合わせて連携イベントを計画中
- (8) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業）
団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。
 - ① 火起こし体験
 - ② 勾玉作り
 - ③ 土鈴作り
 - ④ 石包丁作り
 - ⑤ トンボ玉作り（少人数限定）
 - ⑥ 青銅鏡作り（少人数限定） など
- (9) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示
 - ① マチナカ博物館による外部出張展示を予定
 - ② 山の洲文化財交流事業による外部出張展示を予定
- (10) 観光・地域活性化に向けた取り組み
 - ① ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ！甲斐風土記の丘」
 - ② 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化
- (11) 海外博物館等との交流
新北市立十三行博物館（中華民国（台湾））
フォーラム・イベントに2名参加予定（4月22日（水）～4月27日（月））
十三行博物館の職員の招聘を予定

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

- (1) 学芸員実習
- (2) 職場体験 学校向け
- (3) インターンシップ

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。
主に学校、団体向けに貸出予定。

6 学芸員・教育主事によるガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施予定。

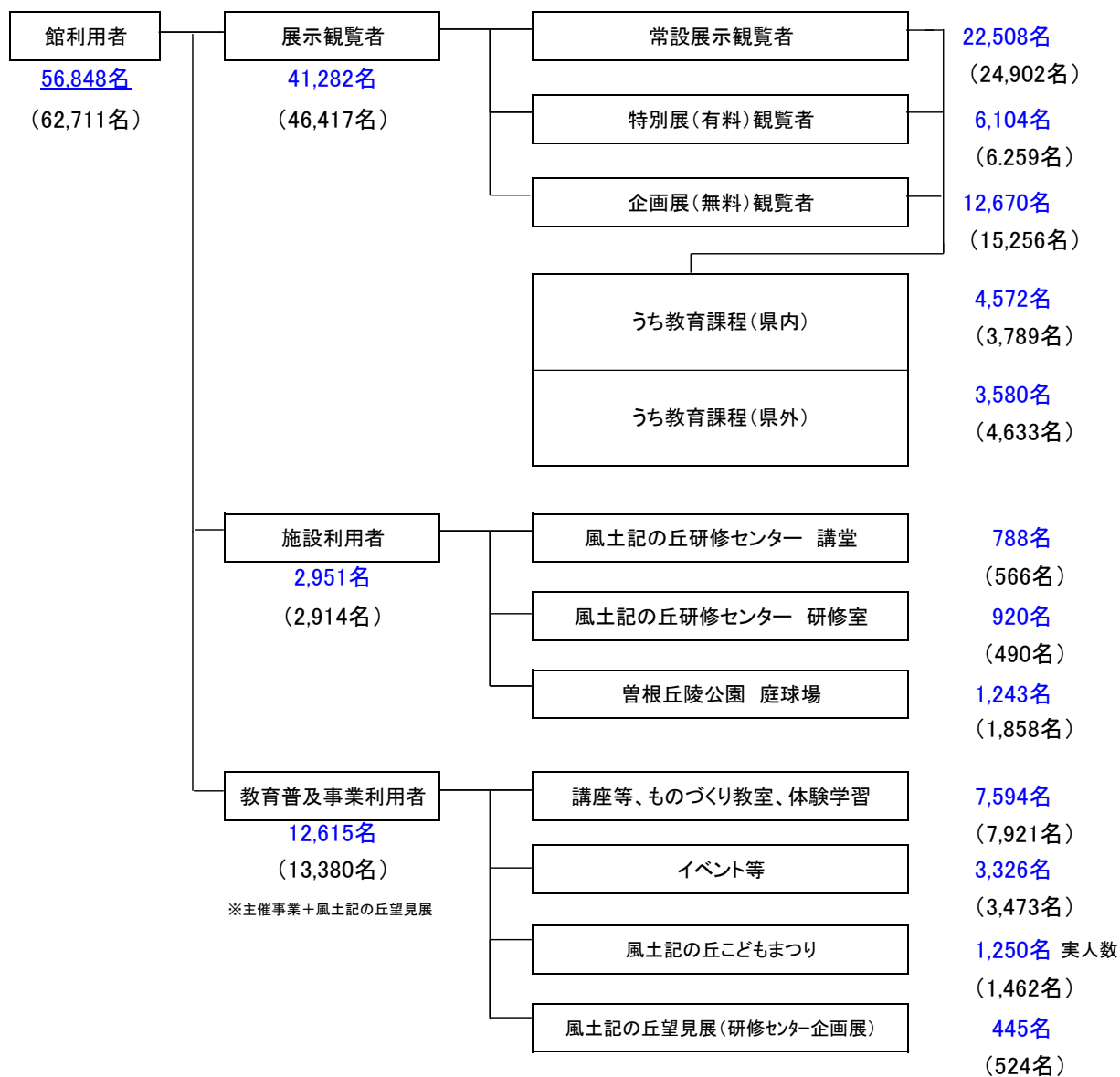
(3) 考古博物館の利用状況について

1 令和7年度 考古博物館における「利用者」の状況

※ 令和7年度2月末現在

○ 考古博物館の利用者とは、考古博物館の施設、提供するサービスを利用した者および考古博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。

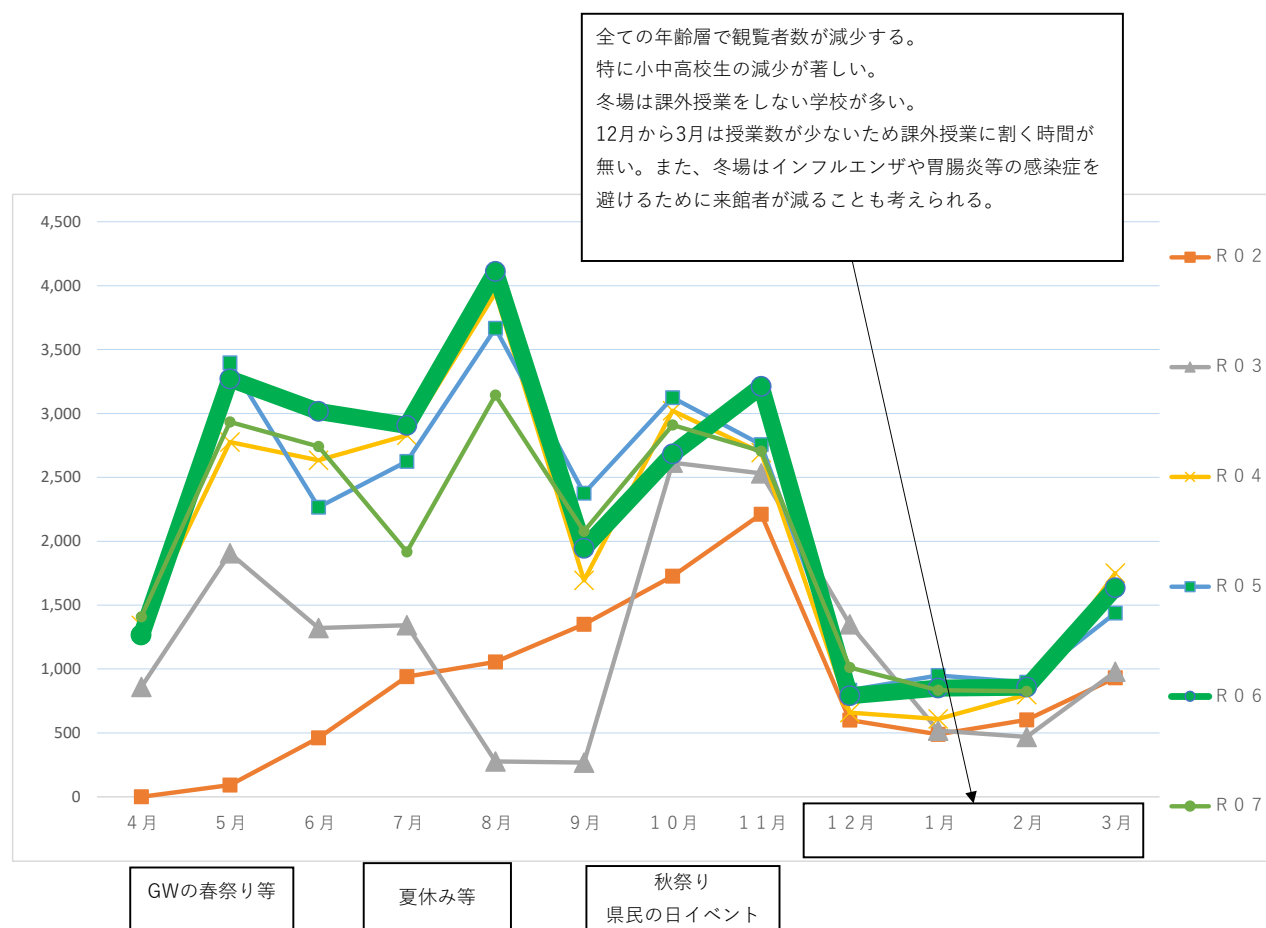
※ () は前年同時期



2 常設展観覧者数過年度比較

単位：人

常設展 観覧者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2月末 まで	合計
R 0 2	0	93	462	941	1,055	1,350	1,726	2,212	600	488	602	931	9,529	10,460
R 0 3	860	1,905	1,320	1,343	276	268	2,615	2,531	1,350	519	469	979	13,456	14,435
R 0 4	1,341	2,776	2,634	2,830	3,943	1,693	3,021	2,694	659	609	799	1,751	22,999	24,750
R 0 5	1,270	3,396	2,266	2,625	3,666	2,376	3,124	2,756	835	949	896	1,438	24,159	25,597
R 0 6	1,265	3,269	3,015	2,906	4,110	1,944	2,683	3,211	791	850	858	1,636	24,902	26,538
R 0 7	1,409	2,933	2,742	1,917	3,143	2,077	2,909	2,705	1,012	835	826		22,508	22,508



3 考古博物館 観覧者数推移（常設展・特別展）

（単位：人）

年度	開館 日数	常設展	特別展	合 計 (常設＋特別)	累計
57	115	30,687		30,687	30,687
58	295	48,795	8,395	57,190	87,877
59	298	40,722	5,239	45,961	133,838
60	298	35,628	4,015	39,643	173,481
61	302	38,106	10,014	48,120	221,601
62	298	38,880	3,517	42,397	263,998
63	296	39,554	5,123	44,677	308,675
1	299	42,682	5,625	48,307	356,982
2	301	47,602	6,597	54,199	411,181
3	300	44,935	5,789	50,724	461,905
4	296	40,795	6,174	46,969	508,874
5	289	40,640	4,591	45,231	554,105
6	294	35,036	6,286	41,322	595,427
7	291	47,962	90,082	138,044	733,471
8	283	30,950	18,483	49,433	782,904
9	291	25,575	5,195	30,770	813,674
10	290	25,080	13,165	38,245	851,919

3 考古博物館 観覧者数推移（常設展・特別展）

（単位：人）

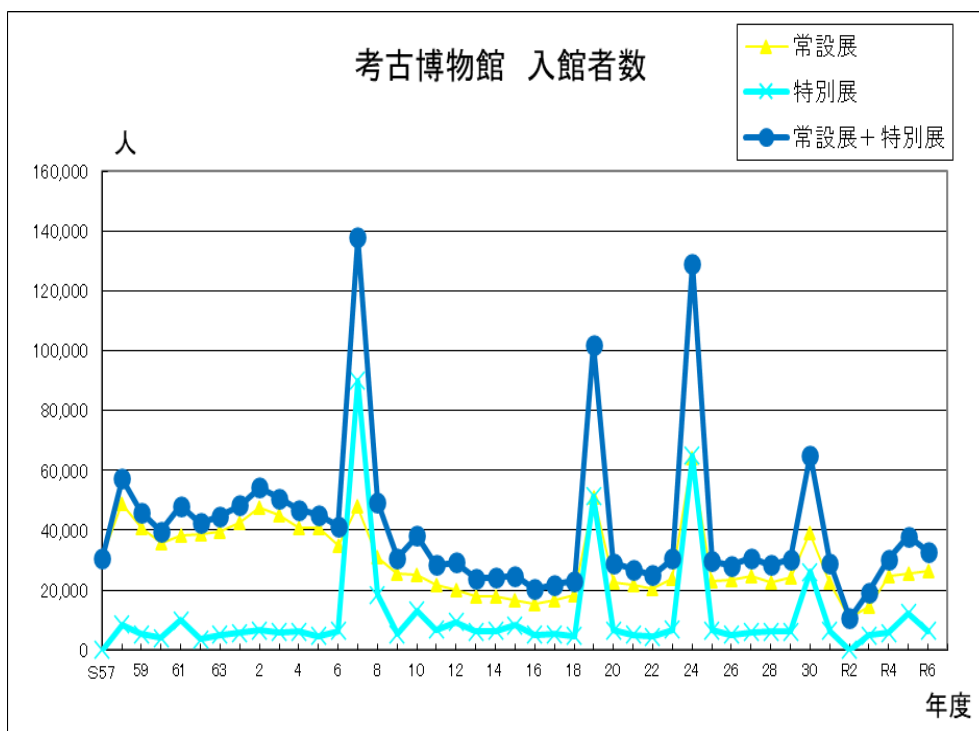
年度	開館 日数	常設展	特別展	合 計 (常設＋特別)	累計
11	288	21,636	6,812	28,448	880,367
12	288	20,094	9,227	29,321	909,688
13	292	17,989	6,035	24,024	933,712
14	289	17,879	6,373	24,252	957,964
15	290	16,602	8,127	24,729	982,693
16	298	15,346	5,064	20,410	1,003,103
17	296	16,555	5,154	21,709	1,024,812
18	300	18,428	4,613	23,041	1,047,853
19	301	50,887	51,241	102,128	1,149,981
20	298	22,493	6,549	29,042	1,179,023
21	290	21,847	5,068	26,915	1,205,938
22	300	20,570	4,329	24,899	1,230,837
23	299	23,659	6,773	30,432	1,261,269
24	296	64,356	64,865	129,221	1,390,490
25	293	23,125	6,545	29,670	1,420,160
26	268	23,227	5,017	28,244	1,448,404
27	297	24,722	5,945	30,667	1,479,071
28	297	22,371	6,044	28,415	1,507,486
29	296	24,223	6,067	30,290	1,537,776
30	296	39,047	25,981	65,028	1,602,804

3 考古博物館 観覧者数推移（常設展・特別展）

（単位：人）

年度	開館 日数	常設展	特別展	合 計 (常設+特別)	累計
31 (R1)	268	22,678	6,308	28,986	1,631,790
2	261	10,460	0	10,460	1,642,250
3	261	14,435	4,768	19,203	1,661,453
4	297	24,750	5,631	30,381	1,691,834
5	293	25,597	12,313	37,910	1,729,744
6	296	26,538	6,259	32,797	1,762,541
計	12,384	1,283,143	479,398	1,762,541	

R04～R06 平均	25,628	8,068	33,696
------------	--------	-------	--------



4－1 学校関係利用状況

令和8年2月末現在

県内＋県外 利用の状況	R7年度 (2月末)		R6年度 (3月末)		R5年度 (3月末)	
	施設利用 (常設展)					
	124件	6,633人	126件	6,925人	109件	5,496人
小学校	99件	4,737人	106件	5,608人	83件	3,877人
中学校	22件	1,097人	17件	509人	21件	942人
高校	3件	106人	3件	133人	5件	152人
その他 (児相など)	0件	0人	0件	0人	0件	0人
引率者	－	693人	－	675人	－	525人
職場体験	10件	19人	9件	13人	22件	42人
教材貸出 (古代衣装)	4件	－	6件	－	9件	－
合 計	138件	6,652人	141件	6,938人	140件	5,538人

4-2 学校関係利用状況（市町村別）

			人口	R7（2月末時点）		R6		R5	
			R8.1	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
国中	1	甲府市	182,342	20	1,045	20	675	14	669
	2	山梨市	32,288	4	162	3	78	5	264
	3	韭崎市	27,380	3	152	4	204	3	178
	4	南アルプス市	71,768	5	146	5	147	3	63
	5	北杜市	44,925	3	97	5	181	3	57
	6	甲斐市	76,215	7	289	7	454	10	433
	7	笛吹市	66,246	3	296	2	40	0	0
	8	甲州市	28,612	1	18	3	102	0	0
	9	中央市	30,396	7	281	6	251	7	334
	10	市川三郷町	14,179	6	113	5	50	5	56
	11	早川町	792	0	0	0	0	1	11
	12	身延町	9,344	3	71	2	18	2	63
	13	南部町	6,580	2	25	4	46	2	27
	14	富士川町	13,706	1	78	1	81	1	77
	15	昭和町	21,524	0	0	1	79	1	29
郡内	16	富士吉田市	45,847	0	0	0	0	1	17
	17	都留市	28,028	3	191	1	110	3	134
	18	大月市	20,839	0	0	0	0	0	0
	19	上野原市	20,717	1	20	1	22	1	23
	20	道志村	1,483	1	26	0	0	1	20
	21	西桂町	3,808	1	28	1	36	0	0
	22	忍野村	9,650	1	125	0	0	0	0
	23	山中湖村	5,758	0	0	1	10	2	32
	24	鳴沢村	3,048	0	0	0	0	0	0
	25	富士河口湖町	27,120	10	310	8	336	9	277
	26	小菅村	612	0	0	0	0	0	0
	27	丹波山村	490	1	15	0	0	0	0
県外	28	東京都		36	2,797	42	3,636	34	2,699
	29	静岡県		3	186	3	309	1	33
	30	長野県		0	0	0	0	0	0
	31	埼玉県		1	94	0	0	0	0
	32	神奈川県		1	68	1	60	0	0
合計				124	6,633	126	6,925	109	5,496

（参考）県内利用者のうち国中・郡内比率

	人口	R7（2月末時点）		R6		R5	
		学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
国中地域	626,297	65	2,773	68	2,406	57	2,261
	(79%)	(78%)	(80%)	(85%)	(82%)	(77%)	(82%)
郡内地域	167,400	18	715	12	514	17	503
	(21%)	(22%)	(20%)	(15%)	(18%)	(23%)	(18%)
県外		41	3,145	46	4,005	35	2,732
合計	793,697	124	6,633	126	6,925	109	5,496

5 外国人利用者数

令和5年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月～6月	13	0	11	22	19	65	山梨の遺跡展 ～4/9 春季企画展 4/15～6/11
7月～9月	18	4	7	21	1	51	特別展開催(山梨の縄文世界)7/8～9/3 特別巡回展開催(発掘された日本列島)9/16～
10月～12月	30	2	4	25	4	65	特別巡回展開催(発掘された日本列島)～10/29 山の洲文化財交流展12/9～
1月～3月	31	0	4	21	6	62	山の洲文化財交流展～1/21 わたしたちの研究室 2/10～3/3 山梨の遺跡展 3/9～
合計	92	6	26	89	30	243	中国37.9% 韓国2.5% アジア10.7% 欧米36.6% 他12.3%

令和6年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月～6月	14	5	2	24	0	45	山梨の遺跡展 ～4/7 春季企画展 4/20～6/16
7月～9月	30	3	5	13	5	56	夏季企画展 7/13～9/1 特別展(縄文時代の不思議な道具)9/28～
10月～12月	16	5	3	27	3	54	特別展(縄文時代の不思議な道具)～11/24
1月～3月	7	3	5	22	0	37	わたしたちの研究室 1/25～2/23 山梨の遺跡展 3/1～3/30
合計	67	16	15	86	8	192	中国34.9% 韓国8.3% アジア7.8% 欧米44.8% 他4.2%

令和7年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月～6月	7	0	7	23	4	41	春季企画展 4/19～6/15
7月～9月	26	9	7	23	3	68	夏季企画展 7/12～8/31 特別展(PAPUA×JOMON縄文文化の謎を考えるーパプアニューギニアの民族誌ー)9/27～
10月～12月	10	0	11	36	7	64	特別展(PAPUA×JOMON縄文文化の謎を考えるーパプアニューギニアの民族誌ー)～12/7
1月～2月	9	0	3	14	3	29	わたしたちの研究室 1/31～2/22 山梨の遺跡展 3/7～
合計	52	9	28	96	17	202	中国25.7% 韓国4.5% アジア13.9% 欧米47.5% 他8.4%

・令和7年度の外国人利用者数は、昨年度より約12%増加(2月末時点)

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)
第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)
第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)
第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)
第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)
第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)
第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)
第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考
博物館法(抜粋)

(博物館協議会)
第23条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。
2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第24条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあつては、当該地方公共団体の長)が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

山梨県考古博物館協議会運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、博物館法第20条、山梨県附属機関の設置に関する条例（以下「条例」という。）及び山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（以下「規則」という。）に定める山梨県考古博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 協議会は、山梨県立考古博物館（以下「館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応じ、中・長期的な課題等について調査・審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第3条 協議会を構成する委員は、条例第4条別表第1の定めに従い15人以内とする。

2 前項15人のうち2人は公募委員とし、公募委員選考委員会要領により開催される公募委員選考委員会で選考する。

3 協議会を構成する委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 観光分野の関係者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員の辞職等により新たに委員を補充したときは、その委員の任期は前委員の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないが、原則一度限りとする。ただし、協議会の所掌事務に関し特に専門的な知識経験等を有する者又は協議会の所掌事務に密接な関連を有する団体を代表する者が当該委員以外に得難い等特別の事情がある場合は、この限りではない。

(会長等)

第5条 規則第4条の規定により、協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は委員の互選によりこれを定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長及び副会長の再任は、妨げないものとする。

5 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

7 会長及び副会長は事務局が作成する議事録を確認し、必要に応じ修正等の指示を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、必要に応じて書面またはオンラインによる開催とすることができる。

3 協議会は、毎年2回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

5 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(傍聴)

第7条 協議会は、会長の許可を得た者が傍聴することができる。

2 協議会の傍聴に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事録)

第8条 協議会の議事録はこれを作成し、公開する。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、館に置く。

2 事務局に、事務局長及び事務局員若干名を置く。

3 事務局長は、館長をもって充てる。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本協議会の運営等に関して必要な事項は、会長がこれを定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。